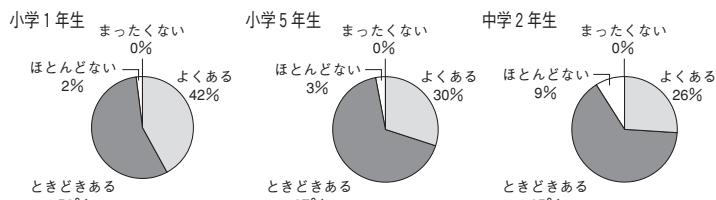


こころ 県P連だより

発行 徳島市北田宮1丁目8-68
〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

編集 総務広報委員会

■あなたはお子さんをほめることができますか。



「対話」は人とのコミュニケーションにおいてとても大切な要因の一つです。今回のアンケートで「あなたはお子さんをほめることができます」と取り上げました。

徳島県PTA連合会では、子どもの生活習慣、家庭における親の子どもへの関わりと意識等について県下の小・中学生の保護者にアンケートを実施しました。

今回「こころ」では、子どもとのコミュニケーションと携帯やゲームのルールについて取り上げました。

ありますか。」との回答で、「よくある」と答えた方が、小学1年生の保護者では42%、小学5年生では30%、中学2年生では26%と学年が大きくなるにつれ少なくなってきます。わかっています、「できないこと」のほうが目につきがちです。では、無理にほめることを意識せず、お子さんがあなたの喜ばせてくれたとき、その喜びや感謝を、そのまま言葉にして伝えてみてはい

たっぷり愛して、 しつかり任せるコミュニケーション

徳島県PTA連合会「家庭教育実態調査」より

その子らしさを育てる会話って?
○× ちょっと考えてみませんか

- あんのことわかつうけなん…
- あんたはできる子なんよ…
- × テストどこまちうたん? しょうもないまちがいして…
- × やつたらできるのに、なんで今までせんかったん?
- × 今忙しいけん、あとでな
- × またこんなことして!! この前も○○だったでえ~
- 何回言うたらわかるん?
(注意することはひとつだけ、長々ならない)
- × 90点でえ。よく頑張ったな。次は100点取りよ!
(次は100点取りよ! はいらないかも)
- [×] なーんや、ビリか…
- [○] 最後まで頑張ってよう走ったなあ
(あきらめない気持ちを教えない)
- [×] よその家がしどうけん、まあしゃあないか…
- [○] 我が家は我が家のルールを決めよう
- [×] 宿題せんかったら、ゲーム取り上げるよ!
- [○] 宿題できたら、ゲームしていいよ
(同じ意味でも、受け取り方が全然違います)

かがでしようか。「手伝ってくれて、助かった」「○○してくれて、ありがとう」といつた言葉を聞くと、子どもはほめられるよりもはるかに心地よく感じるのではないか。この「対話」について、県内の学校でスクールカウンセラーをしている、発達支援センターとくしまの上岡義典先生にお話しをうかがいました。

初めてわが子と対面した時の頃を、ちょっとと思い出してみて下さい。暇があれば、子どもに話しかけたり、語りかけたりしていま

対話の原点

発達支援センターとくしま
臨床心理士 上岡 義典

りして下さい。暇があれば、子どもに話しかけたり、語りかけたりしていま

せんでしたか。そして、子どもが笑ったり何か喋ったりすれば、きっと手放しで喜んで、何のためらいもなく褒め称えていたことでしよう。でも気がつけば、いつの間にか口にするのは「もっと勉強しなさい」「早く起きなさい」といった具合に注意することばかり。そんな状況で急に「もっと、子どもとコミュニケーションをとって下さい」とか、さらには「良いところを褒めてあげましょう」なんて言われても、親として本当

に困ってしまいますよね。まるで、新たな課題が与えられたかのようです。

子どもが小さい頃、一緒に遊んだり、よくできたことを褒めたりする時は、きっと大人も一緒に楽しみを味わっていたのだと思いまます。親としても、楽しい

声が返ってくるかも知れませんが、それでもOK!

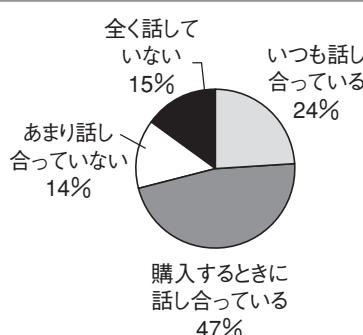
何かのきっかけにはなると思います。何しろ「自分が

楽しいことは、楽に続けられる」のですから……。

親子でルールを 決めましょう

– 携帯電話・パソコン・ゲーム –

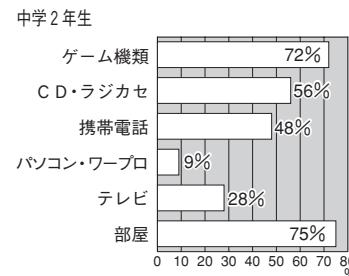
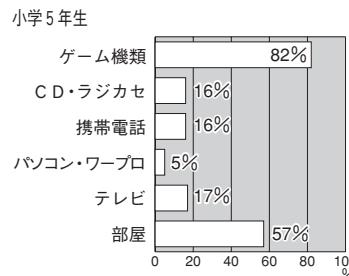
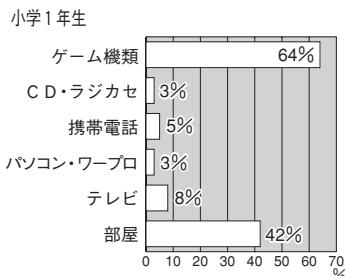
アンケートの結果では、小学1年生で92%、小学5年生で85%、中学2年生で77%の家庭が、何らかのルールを決めているようです。命令口調で一方的に押し付けるのではなくて、親も携帯やインターネット、ゲームのことを理解し、子どもと話し合って納得のいくルールを決めたいですね。そこで、携帯・パソコン・ゲーム機を使う上での注意点を考えてみたいと思います。



- 携帯電話の使用方法について、フィルタリングサービスの設定などを含めて話し合いましたか。



■あなたが次の中でお子さん専用としてもたせているもの全てを選んでください。



恵まれた子どもたち？

小5の8割がゲーム機を所有
中2の5割が携帯電話を所有

■あなたはお子さんのテレビ・ゲームの内容や時間、パソコンの使用方法や時間についてルールを決めていますか。

	小学1年生	小学5年生	中学2年生
1 ルールを決めている	32%	21%	12%
2 だいたい決めている	43%	41%	37%
3 少し決めている	17%	23%	28%
4 全く決めていない	8 %	15%	23%



「携帯・パソコン編」

- ① 何のために携帯やパソコンを使うのか目的を明確に！Webサイトの閲覧やゲームは、いつも時間とお金が引き換えになることを、子どもに理解させる。
 - ② 個人情報の大切さを家庭で話し合う。個人情報の安易な入力が、迷惑メールや架空請求の被害、犯罪などに結びつく可能性があります。「知らない人からのメールは無視！」
 - ③ 人や物を撮影する場合や、サイトに写真を掲載する場合は、必ず相手や持ち主に了解を。著作権や肖像権を侵害する恐れも…。
 - ④ 伝えたい気持ちはこもっている？メールを送る前、書き込みをする前に、相手の立場になって読み返す習慣をつけたいもの。

「ゲーム機・低学年編」

- ① 対象年齢に合ったゲームを選ぶ。
 - ② 自分の部屋にゲームを持ち込ませない。

低学年の場合、親の目の届く範囲でゲーム機を使わせるようにすることが大切。同じ部屋にいれば、時間も親が把握できるし、コミュニケーションもとれます。

「輝く未来を子どもたちとともに」 第36回四国ブロックPTA研究大会 徳島大会

[大会テーマ]

児童・生徒の安全を守り、命の大切さを育むPTA活動の推進

2007年11月20日、第36回四国ブロックPTA研究大会徳島大会が、徳島市のアスティとくしまで開催されました。四国の各県から約1,400人の参加者が集まり、記念講演や分科会において新しい情報を得、また相互の交流を図りました。

【趣旨】 子どもたちの幸せを願い、日頃から実践活動を続けている四国4県のPTA会員が一堂に集い、「輝く未来を子どもたちとともに」のスローガンのもと、当面している共通の課題について研究協議するとともに、相互の交流と理解を深め、新しい時代の要請にこたえる望ましいPTA活動を積極的に推進することを目的とする。

● ネット社会の7つの常識 ●

- ① 自己責任
知らない人からのメールは、開かない。
ネットショッピングは親の管理のもとで。
- ② 思いやと謙虚さ
言葉は表情が見えない。細心の注意を。
言葉による人権侵害は、立派な犯罪。
- ③ 個人情報は大切に
総合セキュリティソフトを使って情報流出をブロック。
- ④ ストップ！危険なサイト
パソコンは居間に置く。
携帯電話は、寝床に持っていくない。
履歴は消さない。
- ⑤ 著作権・肖像権侵害
人を不快にさせない。
許可があれば大丈夫。
- ⑥ コンピューターウィルス対策
- ⑦ IDパスワードの管理

記念講演は、e-ネットキャラバン事務局の山田能弘氏を講師にお招きして、「親としてできること・子どもをインターネットのトラブルから守るために」と題して行われました。

インターネットで自分の世界が広がる一方、危険といつも隣り合わせであることを。その危険から子どもを守るために、ネット社会の7つの常識を子どもに教えて欲しい。というお話しでした。

最後に、我が家ルールを作ること。親も、インターネットのことを理解し、子どもと話し合った上でルールを決め、それを子どもに書かせ、壁に貼って常に目に触れるようにしておくとよいでしょう。

講師 e-ネットキャラバン事務局

山田能弘氏

「親としてできること・子どもをインターネットのトラブルから守るために」



e-ネットキャラバンでは、インターネットのトラブルから子どもたちを守ることを目的に、全国で保護者・教職員などを対象にガイダンスを実施しています。

第一分科会（健康安全）

- ① みんなでやるぞ「早ね 早起き 朝ごはん」運動
- ② 子どもたちが健康な体で生き生きと学校生活を送るために

第二分科会（学校支援）

- ① 学校教育への協力
- ② 親子読書活動をとおして

第三分科会（地域連携）

- ① オリーブ栽培と地区別PTA活動を通して
- ② 家庭・学校・地域が連携し、ともに活動する開かれたPTA活動

第四分科会（危機管理）

- ① お大師の町の地域一丸パトロール
- ② 地域ぐるみで子どもたちの安全を守るためのPTA活動

第56回日本PTA全国研究大会 かがわ讃岐路大会 日程：2008.8.23(土)・24(日)

来年の全国研究大会は香川県でおこなわれます。四国は一つという気持ちで徳島からは開催のお手伝いと多くの参加を予定しています。「来年はかがわ讃岐路大会で会いましょう！」

第1分科会【健康安全】

健やかな生活習慣



第1分科会

「早ね 早起き 朝ごはん」最近よく耳にする言葉です。平成18年度に文部科学省の委託事業「子どもの生活リズム向上全国フォーラム」に取り組むことになった高知県小中学校PTA連合会の母親委員会では基本的な生活リズムの確立は家庭の問題ととらえ、子どもたちの朝食欠食をなくすことを目的に、誰でも簡単に作ることができます。「超!簡単朝ごはんレシピ」の作成に取り組みました。予算業等にも協賛を求め、お父さんたちと母親委員一丸と

単朝ごはんレシピの作成ができた。しかし今、企業等にも協賛を求め、お父さんたちと母親委員一丸と

朝食への取り組みを行うことになりました。親子給食会と懇談会、そして親子料理教室、参観日に食に関する指導の公開などをおこなっています。しかし今、食も含めた様々なリズムが崩れかけています。

まずは個々の家庭へ生活リズムの見直しを伝えていかなければいけないと、改めて感じました。

第2分科会【学校支援】

豊かな心と生きる力

大豊中学は学校行事への事業協力や集団宿泊、親子研修等各種事業により、学校と保護者の信頼関係が築かれ、全員参加により会員相互の協調性の向上が図られている。また地域住民の

なりレシピを作成しました。県内の子どもに配布することができます。そこで、愛媛県越智郡上島町立岩城小学校PTAでは朝食の内容について調べ、その結果「ご飯だけ」「おかずだけ」といった簡単な朝食で登校している児童が22パーセントもいることをふまえ、食生活改善を目指す、食育への取り組みを行



第2分科会

乗り越えてきた過程をしつかりと伝えていくことが必要といったアドバイスがなされました。

提案2では小松島市立芝田小学校PTAが廃品回収や全町運動大会では小規模の小学校だからできる地域との関わりを大切にし、「父親クラブ」やPTA本部役員のお父さんたちが頑張っている様子が伝えられました。



第3分科会

第3分科会【地域連携】

家庭・学校・地域と連携

第3分科会では、家庭、学校、地域と連携を深めるPTA活動をテーマに話し合いました。提案1では小豆島町立内海中学PTAが地域の方々に協力を求め、町内全ての小中高でオリジンの栽培に取り組んだ活動が発表された。活動により生徒とともに郷土を愛するA活動に新たな風が吹いた。(2)郷土の良さを知り、生徒とともに郷土を愛することを学んだ。(3)地域おこしにつながった。(4)大勢の協力が必要となり、家庭、学校、地域との連携が深まつた。などの報告がありました。

第4分科会【危機管理】

安心できる子どもの環境

地域ぐるみで子どもの安全を守るというテーマで善通寺市吉原小学校と大洲市喜多小学校から提案がありました。人通り、人目のない地域に人の目を増やせといいう事で地元の老人会や大学生のボランティアの人達が下校時間に見回りをしたり子どもといっしょに帰宅する活動がすすめられていました。その他にも「不審

者等情報メールの配信システム」「青色回転灯パトカーの導入」「市民バスの運行」等が行われています。また村役場から下校時間になると「手のあいてる人は外へ出て子どもたちを見守って下さい」等の放送をして地域に呼びかけている例もありました。地域によって活動は様々ですが子供の安全を守りたいという思いは伝わってきました。その後の質問の際には「ボランティアが不審者に出くわしたらどう対処しているのですか」という真実味のある意見も出ましたが、実例がないためはつきりした回答はありませんでした。もし不審者を見付けたらあなたならどうしますか?これは事件を未然に防ぐためにPTAが地域といっしょに考えておかなければならない課題だと思います。



第4分科会

子どもたちに夢を語ろう

子どもたちには夢や目標をもって欲しいと誰もが願います。そのためには、まず私たち大人が夢(目標)をもち、輝くことが大切です。そして子どもたちに夢を語りましょう。



中央の球体は現在の夢を表しています。下に落ちた円はかなえられなかった夢です。そして左奥に輝く小さな球体は未来の夢を表しています。

球体の表面を覆う小さな球は徳島市・名東郡の中学校PTA18校の文化部が中心となり全て手作りしました。小さな球全てに、子どもたちへの温かな想いが込められています。

私たちの夢は、世界中の全ての子どもたちが笑顔で輝くことです。私たちのこの想いが子どもたちに、そしてあなたに届くことを願っています。

● 子どもたちには夢や目標をもって欲しいと誰もが願います。そのためには、まず私たち大人が夢(目標)をもち、輝くことが大切です。そして子どもたちに夢を語りましょう。

親から子どもに贈ることでできる最高のメッセージは、私たち親自身が、夢(目標)をもって生き生きと自分らしく幸せに輝く、それだけで充分ではないでしょうか。子どもはその姿から「人生は楽しいものなんだ」と気づくでしょう。あとは、子どもの人生は子どもに任せて見守つてあげましょう。そして、子どもが夢を見つけたら応援してあげましょう。

ただ、「今さらどうやって夢(目標)を見つけたらいいんだろう?」「家族で夢(目標)を持つためにはどうしたらいいんだろう?」

具体的に家族で気軽に話し合って表に書いてみませ

んか?書いてみるだけで自分がやりたいことが見えてくるときもあります。まずは家族で「我が家の中計画表」をつくりましょう。そして、家族が集まるところに貼つてください。この表ができたら、次はその夢(目標)を実現させるためには何をいつ始めればよいのか、何をすればよいのかを逆算で考えてください。そうすると今しなければいけないことが、見えてくるはずです。

大きな夢でも、ほんの小さな夢でも構いません。家族で話し合うことが大切なことです。そして私たち親自身が夢を語り輝くことが大切だと思いません。

「あなたはお子さんとお子さ

んの将来や人生のことについて話すことがありますか。」

回答では、よくあると答えた

保護者は学年が大きくなると

増えてきています。しかし、小

学校1年生では18%、小学5

年生では24%、中学2年生で

は30%とやはり全体から見ると少なく、保護者としてもっと積極的に子どもたちの将来や、人生について子どもたちと話す時間があつてもよいのではないかでしょう。そして、子どもたちの将来だけではなく、自分たちの未来についても話してみてはいかがですか。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて始めた剣道の五段審査に合格することです。剣道の昇段審査は厳しく、段が上がるほど合格率は低くなっています。しかも、五段は県連盟の審査で認定される最高位で、六段からは日本連盟の審査となっています。今四段をとっているので、あと少しで夢が手の届くところまで近づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

道教室の子どもの中に、全日本

剣道選手権(各県代表一名)に

出場することが夢という子がい

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

連盟の審査となっています。今

四段をとっているので、あと少

しで夢が手の届くところまで近

づいてきたように思います。

週二日少年剣道の指導をしな

がら、自らの練習にも汗を流し

ました。彼は、社会人となつて

も上位進出を逃したものの、

見事夢をつかみました。次は、

さらなる練習を重ね、きっと持つたであろう次の夢を追いかけて欲しいと願っています。

また、米大リーグで活躍中の

イチロー選手は、幼い頃よりブ

ロ野球選手という夢に向かっ

て、人一倍の努力をしてきました。

練習に次ぐ練習、その

努力が実を結び、大リーグでも

新記録を打ち立て、大活躍をす

る選手となつたのです。

私は今五十才を過ぎたところですが、今なお夢を持っていま

す。それは、私が成人になつて

始めた剣道の五段審査に合格す

ることです。剣道の昇段審査は

厳しく、段が上がるほど合格率

は低くなっています。しかも、

五段は県連盟の審査で認定され

る最高位で、六段からは日本

子育てコーチング

「愛すること」は、親が子どもから引き出せる最初の力です。まだ寝ているだけの赤ちゃんでも、親とのスキンシップや優しい声から親の愛を感じます。そこからの自分のことを大切に思う気持ちが芽生えて、命の土台を支えます。

次に引き出したい力が、「責任」です。自分のしたいことの当然の結果を体験させること、子どもはより良い結果を得るために知恵を絞るようになります。それは、「できないこと」を乗り越えて前向きに生きる姿勢につながります。

3つめの力は「人の役に立つ喜び」です。自分が誰かのためになれるという自信は、新しい世界に飛び込む勇気となって、子どもの行動範囲を広げます。

この3つの力を豊かに引き出された子どもは、自分で信じて自分で考えながら、しあわせに自立していくことができます。

とくしま家庭教育フォーラム

人権・家庭教育委員会 委員長

三宅茂子

子どもの幸せな自立のため 親・大人の役割

一月二十六日、郷土文化会館で家庭教育フォーラムが開催されました。講師には森川先生をお招きました。隣同士の方とのコミュニケーションを取りながらの講習は大変楽しかったです。又、私は第4分科会の親のための子育てコーチングに出席しました。鈴木安子先生のお話是最

初から最後まで楽しく聞かせていただきました。ヘルプタイプの親が奪うもの、サポートタイプの親が与えるもの。参加者が二人一組でコーチングのテクニックを使いながら親子のコミュニケーションをロールプレイングし、子育てに効果的なコーチングを学ぶことが出来ました。

第55回日本PTA全国研究大会に参加して

国府中学校PTA会長 川原富子

さあ、はじめよう！びわこ

から！見つめよう・命と自然

の大切さ…をスローガンに第

55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

から！見つめよう・命と自然の大切さ…をスローガンに第55回日本PTA全国研究大会が二〇〇七年八月滋賀県大津市で盛大に開催され、全国から

楽しくて悩ましい広報誌つくり

富田小学校PTA会長 内藤克明



全国大会にて

音楽との出会いのお話などまるでコンサートの音楽家、青島広志氏と一緒に活動されている声楽家の小野勉氏による講演でした。この二日間いろんな事を考えさせられ、いつも思うことですがあが本当に参加してよかったですと思っています。

多くのPTAでは、毎年、広報紙を発行していることだと思います。富田小学校の場合も年に三回、PTA新聞を発行していますが、この度幸いにも、第29回全国小・中学校PTA広報紙コンクールで教育家庭新聞社社長賞をいただき表彰式は八月二十四日、第55回日本PTA全国研究大会の際に、滋賀県彦根市で行なされました。

れました。私の隣には、山口県の中学校の保護者が座られており、始まるまでのしばらくの間、お話をさせていただいたのですが、広報紙作りの苦労話ばかりが出てきて、「そうですね」とたくさん共感するものがありました。そして、全国のPTAの広報担当者が同じようなことで悩み、苦しみながらも広報活動を行い、その結果が、時

学校からは、いろいろなお知らせが送られます。その中には、子どもたちのようすを伝える学校新聞や学級だよりなどがあります。そんな中、PTAの広報紙は「PTAに必要なことを会員に知らせる」という大きな目的で作られています。これにより、普段PTA活動に参加できない保護者にも、PTAが何を行っているのかを知っていたらしく同時に、子どもたちのために保護者には何ができるか、家庭ではどんなことができるかなどを考えていただく機会となることを願っています。そのため常に、「会員の知りたいことは何か」に気を配っています。

記事には、PTAや学校の活動を取り組むことが多いのですが、特集を組む場合もあります。できるだけタイムリーテーマで、アンケートを取り、専門家に聞きに行ったり、保護者を集めて座談会を行う場合もあります。

配布されて、子どもが持帰った広報紙を見るのは、広報部員はちょっと勇気が必要です。誤字脱字はないか、記事の内容に誤りはないかなどが気になります。そして、何より読者の反応はどうか、部員以外の意見をおうかがいすることが、次の広報紙をよりよいものにするための「コツ」がしやすいように、専門家にお聞きする場合はしっかりといます。